

## 保土ヶ谷区民会議ニュース

やまびこ



編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会  
 発行 第23期 保土ヶ谷区民会議  
 事務局 〒240-0001  
 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9  
 保土ヶ谷区 区政推進課広報相談係内  
 TEL 334-6223 FAX 333-7945  
 令和2年3月15日発行

## 令和元年度「地域のつどい」 提言・要望に対する回答をいただきました

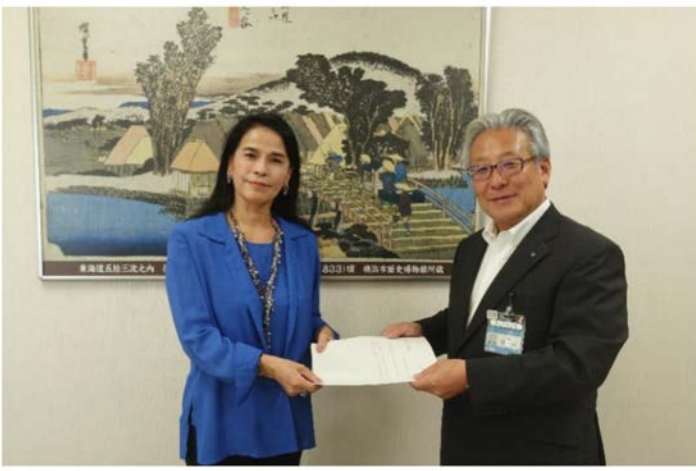
日頃より区民の皆様には、保土ヶ谷区民会議の活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。  
 令和元年6月11日から29日にかけて、地区連合町内会と共催で、「地域のつどい」（区内6ヶ所）が開催され、参加者は過去最多の756人になりました。この「地域のつどい」において区民の皆さまより出された、行政に対する様々な提言や要望を、区民会議で精査し29件にまとめて、8月22日保土ヶ谷区役所区長室において、区民会議小林代表より菅井区長に提出いたしました。

この提言・要望書は「地域のつどい」で参加者より出された200以上の実践例、意見、要望、提案などを、7月11日の第1回仕分けより7回の仕分けを経て、精査し、行政への提言・要望として、環境・ゴミ問題（4件）、防災問題（4件）、私有地問題（2件）、道路問題（4件）、交通問題（10件）、高齢者・子育て問題（1件）、保土ヶ谷駅周辺の開発について（4件）の計29件にまとめたものです。

その提言・要望に対する回答を、10月30日保土ヶ谷区長からいただきました。

この「地域のつどい」提言・要望に対する回答は、保土ヶ谷区連合町内会長連絡会にて報告の後、各自治会長・町内会長を通して、区民の皆さまに提示いたしました。そして、令和2年2月1日保土ヶ谷公会堂において開催された「区民のつどい」でも、回答の一部を抜粋して発表いたしました。

このニュースやまびこにも一部抜粋を掲載しておりますが、回答の全文は保土ヶ谷区民会議のホームページに掲載いたしますので、是非ご覧ください。



菅井区長から回答書を受け取りました



回答書受領後の懇談風景

## 「地域のつどい」提言・要望の回答（抜粋）

### 【防災問題について】

＜要望＞防災拠点の常盤台小学校には貯水槽がない。防災拠点に貯水槽、給水栓を作って欲しい。

＜回答＞保土ヶ谷区総務課（☎：045-334-6203）  
横浜市では災害時の応急給水にあたり、おおむね半径1km圏内で飲料水が確保できるように整備しています。災害用地下給水タンクや受水槽のない地域防災拠点（常盤台小を含む区内5か所）には、応急給水が可能となる耐震給水栓を2023年度までに設置完了予定です。



旧標識(左)と  
新標識

### 【私有地の問題について】

＜要望＞道路上にあるマンホールがいたんでいるが、私道であるため土木事務所では手がつけられないとのこと。セットバックしてようやく車が通行できるようになったものだが、公道と同様に補修をすみやかに行って欲しい。

＜回答＞横浜市建築局建築防災課（☎：045-671-4544）  
この道路は「横浜市 狭あい道路等整備促進条例」に基づく整備促進路線に位置づけられており、セットバック部分の整備に要する費用の一部を助成する制度が適用できる場合もありますので、建築局建築防災課までお問い合わせください。



上菅田町

### 【保土ヶ谷駅東口周辺の開発について】

＜要望＞「地域のつどい」でたびたび要望が出ていました保土ヶ谷駅東口の旧保土ヶ谷県税事務所跡地に「地域ケアプラザ」が建設予定になりましたが、東口バスロータリーに一般車進入のゾーンを設け、屋根（アーケード）を設けて「地域ケアプラザ」までバリアフリーにして利便性を確保してほしい。

＜回答＞横浜市道路局施設課（☎：045-671-2731）  
保土ヶ谷駅周辺については「保土ヶ谷区バリアフリー基本構想」に基づき、保土ヶ谷駅東口駅前広場内のレイアウトの見直しを検討しますが、一般車用のスペースを確保することは困難と考えられます。

横浜市都市整備局企画課（☎：045-671-2022）

旧保土ヶ谷県税事務所跡地に整備する「地域ケアプラザ」においては、一般車の利用できる駐車スペースを確保し、バリアフリーで施設にアクセスできるような計画とします。



旧保土ヶ谷県税事務所

### 【道路問題について①】

＜要望＞「せせらぎの道」の横断歩道(2ヶ所)は、10数年前からスクールゾーン対策協議会でも毎年問題になっています。信号機をつけるか横断歩道を1ヶ所にして欲しい。

＜回答＞保土ヶ谷警察署交通課（☎：045-335-0110）  
坂本小学校スクールゾーン対策協議会でも、当該横断歩道に信号機の設置要望もありましたが、信号機設置が困難な状況から、児童の安全確保のため地域の方々の意見を聞きながら、当該横断歩道を廃止し、安全な場所に移設が可能かどうかを検討していきたいと考えております。



せせらぎの道付近の横断歩道

【道路問題について②】

＜要望＞常盤台地域には危険なバス停に指定された所が2ヶ所あります。西釜台バス停と釜台第二バス停ですが、いずれも横断歩道にバスが停車し乗降しています。注意書きを掲示しているがあまり守っている人はいません。早期の対処をお願いしたい。



釜台住宅第二バス停

＜回答＞保土ヶ谷警察署交通課（☎：045-335-0110）

西釜台バス停については、道路の拡張、停留所の移設・統合が困難なことから、危険となっている横断歩道を同交差点北側約18メートルに移設する予定です。釜台住宅第二バス停にあっても、バス事業者と病院の間で協議し、横断歩道の移設に先行して、横浜駅西口方面行きの停留所を病院敷地内に移設する予定です。

【高齢者・子育て問題について】

＜要望＞公園や子どもの遊び場、駅周辺に時計やベンチが欲しい。乳児連れのお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど、町中に休憩できる所があると助かる。

＜回答＞横浜市健康福祉局福祉保健課（☎：045-671-2387）  
横浜市では「横浜市福祉のまちづくり条例」に基づき、ご高齢の方や障害のある方など全ての方が安全かつ円滑に移動できる歩行空間の整備を進めています。

保土ヶ谷土木事務所（☎：045-331-4445）

時計の設置につきましては、設置効果が高いと思われる公園から順次設置しています。また、ベンチにつきましては、自治会・町内会で設置の可否や場所等をお話頂き、土木事務所に要望をいただければ設置を検討いたします。



写真はイメージです

「区民のつどい」が開催されました！

「区民のつどい」が2月1日（土）保土ヶ谷公会堂にて、約400名の区民の皆様の参加をいただき開催されました。

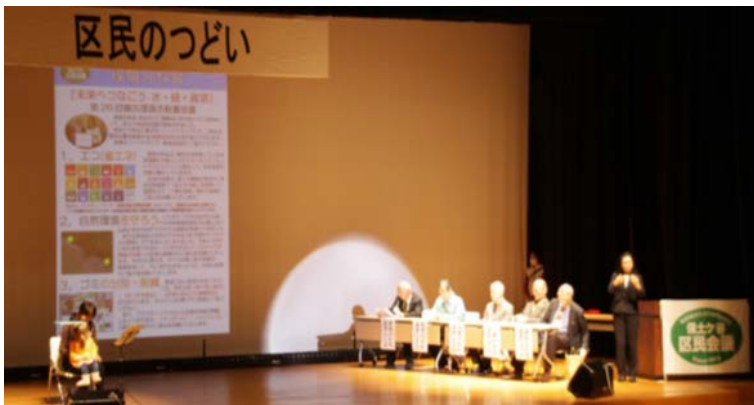
小林区民会議代表、菅井区長、畑尻連合町内会長連絡会会長の挨拶で始まり、区民会議全体の活動報告、「地域のつどい」の提言・要望の回答報告があり、続いて腹話術のリコちゃんが進行役となった各分科会発表では、各座長とリコちゃんとのやり取りも交えた楽しい発表となりました。

「認知症予防体操」でリラックスしていただいたあとは、「ほどがや区の歌合唱団」の美声に続き、「横浜和太鼓 音や」の太鼓が小気味よく体に響き渡り、予定時間で終了することができました。

また、昨年度同様「フードライブ」「廃食油の回収」や、恒例の地場野菜販売の「夕市」も実施されました。

当日、参加された多くの区民の皆様、ありがとうございました。

心より感謝申し上げます。



## 第23期前半の活動と後半の活動計画など

### ◆環境分科会

環境分科会は、新委員11名と前委員17名の、28名でスタートしました。

テーマは、未来へつなごう水・緑・資源とし、サブテーマとして自然環境・ゴミ問題・エコ問題を、第22期に継続して活動しています。7月には「ヨコハマ3R夢（スリム）プランの取組」と「SDGs未来都市横浜」について勉強会を実施するとともに、10月にはプラスチックを熱分解して再生する昭和電工(株)と、12月にはSDGsに真剣に取り組んでいる(株)大川印刷の工場見学で知識を得ました。それをふまえて今後の活動に取り組み、区民の皆様に発信していきます。

特に、廃食油回収・廃プラスチック問題・横浜市「カーボンオフセットプロジェクト」への参加・ホテル生息環境の維持向上への取組等を区民の皆様のお力をお借りして、推進して参りますのでよろしくお願いいたします。

### ◆教育分科会

「あいさつ運動の推進」は、平成17年にスタートしました。第23期前半は委員間で各自治会の実情を話し合い、聞き取り調査など実施方法を討議しました。

「教育現場の実情を知る」は、富士見台小学校を訪問し、意見発表会「“わたしの思い”を表現しよう！」をテーマにした各学年（1～6年生）の寸劇を見ました。また、岩崎中学校を訪問し、横浜市が奨励している「ハマ弁」を試食することも出来ました。

第23期後半の活動計画：「あいさつ運動の推進」と「地域の子育ての実情を知る」について、3月に自治会への共通設問事項を検討し、4月以降に教育分科会委員がグループに分かれ、各自治会の実情を聞き取り調査します。

### ◆交通分科会

旧東海道の通称税務署通りを対象とするモデル地区については、関係者との協議を行いましたが設定に至っていません。後半では、自転車の一時停止を警告する路面表示についての具体的な提案によって、モデル地区の設定を実現します。

自転車安全運転の啓発が重要な課題であり、スマホを見ながらや、イヤホンで聞きながらなどの「ながら運転」の問題を提起した視覚に訴える展示パネルを作成し、「区民のつどい」で展示しました。「ながら運転」などの自転車違反運転者に警察官が渡す「指導警告票」をチラシにすることに取組んでおり、後半では、このチラシを自転車利用者に配布することを目指しています。

### ◆災害分科会

第23期前半活動の振り返り 「HUG出前講習会」の準備と実施 ①8月14日災害分科会委員でのHUG講習会の受講 講師：一政委員 ②令和2年2月22日 岩崎小学校地域防災拠点管理運営委員対象 ③令和2年3月8日 今井小学校地域防災拠点管理運営委員対象 「DIG出前講習会」の実施 ①令和2年3月12日 初音ヶ丘小学校キッズクラブスタッフ対象 勉強会の実施 ①11月13日「保土ヶ谷消防団の活動・組織について」 講師：杉山団長

後半の活動計画 「20万区民の自助・共助による減災運動」今後も全面的に支援します。①「ほどがやの 我が家は家族の 防災拠点」から 自助(いのちを守る)共助(命をつなぐ 生き延びる)への理解と実践をさらに提言します。②「DIG出前講習会」「HUG出前講習会」の受講を各連合町内会・自治会に呼びかけ実施します。

### ◆福祉分科会

前半の活動は、8月に高齢者ひきこもり、8050問題の学習。10月に特別養護老人ホーム梅の木ホームのユニットケアの見学と2回の学習会を行いました。2月の「区民のつどい」では、3つの発信として、①人にやさしい「ヘルプマーク」を知っていますか？やさしく対応してあげましょう。②STOP！こども虐待、地域で子どもを守ろう！電話「189（いちはやく）」の周知。③「高齢者のひきこもり問題」を考えよう。と提言しました。

後半は更に深めた福祉関連の発信を全員で進めてまいります。



「梅の木ホーム」での学習風景

### <広報委員会>

(委員長) 内藤 好夫 (副委員長) 藤田 浩彰 河野 桃弘

(委員) 富田 修一 鈴木 克利 金澤 隆文 新庄 茂 中島 康雅 太田 千卫 山田 明子 (順不同)